

14mm厚品

1.5尺×10尺

M

W

(断熱材厚さ50mm)

下地
外張り断熱工法
木造軸組下地

留付方法

釘

張り方向

横

木胴縁組

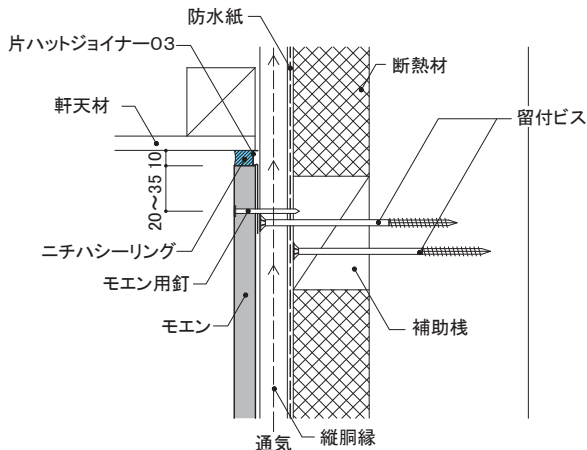
縦胴縁

@500mm以下

9) 軒天部

①シーリング

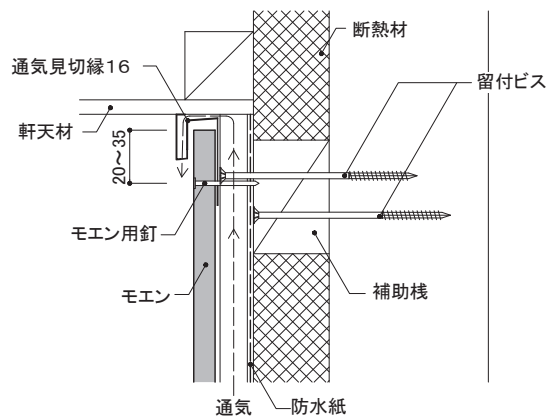
- 補助棧を留付ビスで躯体に取り付けます。
- 縦胴縁を留付ビスで補助棧から外れないよう躯体に取り付けます。
- 通気が小屋裏へ抜けるように、防水紙張り胴縁下地組みは軒天工事に先行して施工します。
- 軒天材との取り合い部は、片ハットジョイナー03を用い、10mm程度の隙間を設けて施工します。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



9) 軒天部

②通気見切縁

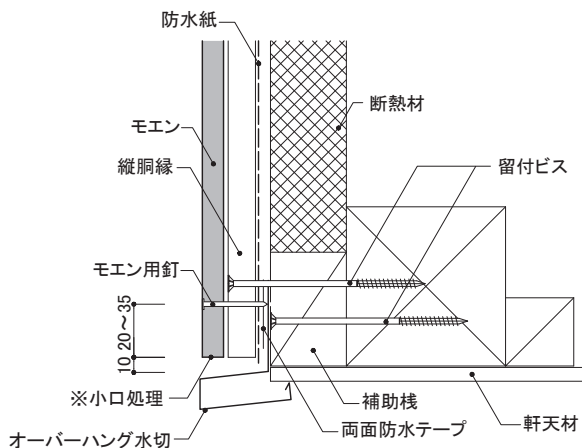
- 補助棧を留付ビスで躯体に取り付けます。
- 縦胴縁を留付ビスで補助棧から外れないよう躯体に取り付けます。
- 通気見切縁16を図のように納めます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



10) オーバーハング部

オーバーハング水切(鋼板製)

- 補助棧を留付ビスで躯体に取り付けます。
- 縦胴縁を留付ビスで補助棧から外れないよう躯体に取り付けます。
- 防水紙がオーバーハング水切の上端にかぶさるよう施工します。
- モエン下端に10mmの隙間を設けます。
- モエンはモエン用釘(ステンレスリング釘φ2.5mm×43mm)で留め付けます。



小口処理 モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭 釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。